

# 未来を担う子どもたちの

## これからの学校づくりのために(2)

6月25日から7月7日にかけて各小中学校の保護者の方に、学校の適正規模・適正配置についての説明を行い「教育環境に関する意識調査」のご協力をお願いしました。

今回は、保護者の皆さんに説明した内容を市民の皆さんにも知っていただきたいと思えます。

市では今後、必要に応じて地

域住民への説明やアンケート調査などを実施し、「子どもたちのために」教育環境の整備に取り組んでまいります。

### ◆「適正規模」について

国が示す学級規模は、皆さんもご存知のように「40人編成の学級」が基準とされ、学校規模は「学級数12～18学級」が標準とされ、小・中学校とも同じです。



伊奈東中学校での説明会の様子

茨城県が示す学校規模は、平成20年に「小学校が12学級以上」、「中学校は9学級以上」が望ましいとされています。学校規模については、国と県の考え方に少し違いがありますが、市では、茨城県が示している学校規模を基に、検討を進めています。

### ●公立小学校の適正規模の基準

小学校は、クラス各学年2学級以上となる12学級が望ましい。

#### 【市内における検討対象校】

- ・小張小学校
- ・豊小学校
- ・三島小学校
- ・東小学校
- ・谷原小学校
- ・十和小学校
- ・福岡小学校

### ●公立中学校の適正規模の基準

中学校は、クラス替えが可能で、すべての教科の担任が配置できる9学級以上が望ましい。(国語、社会、数学、理科、英語に複数の教員の配置が可能)

#### 【市内における検討対象校】

- ・谷和原中学校
- ・複式学級の基準

学級編成の基準は、2つの学年の児童が16人以下で該当になります。これにより複式の学年には県予算における担任教諭は、1人しか配置されません。

#### 【市内における該当校】

- ・東小学校(3学年10人、4学年6人による複式学級)

## 児童数の推移予測

H22.4.1現在 (人)

小学校名	H17入学 H10生	H18入学 H11生	H19入学 H12生	H20入学 H13生	H21入学 H14生	H22入学 H15生	H23入学 H16生	H24入学 H17生	H25入学 H18生	H26入学 H19生	H27入学 H20生	H28入学 H21生
小張小学校	29	33	54	39	59	77	69	101	106	121	141	133
谷井田小学校	50	52	65	46	41	54	53	46	56	45	43	42
豊小学校	21	18	20	23	22	17	20	14	23	24	19	20
三島小学校	19	19	14	12	20	11	9	13	12	6	10	8
板橋小学校	91	79	92	86	69	74	75	68	55	61	48	69
東小学校	11	8	6	10	9	9	5	15	4	9	8	9
谷原小学校	30	24	23	31	26	26	22	24	24	31	34	24
十和小学校	13	22	17	13	20	9	4	20	12	13	8	17
福岡小学校	23	14	11	9	8	13	5	13	13	10	11	9
小絹小学校	129	123	103	103	99	90	101	84	106	91	96	94
計	416	392	405	372	373	380	363	398	411	411	418	425

※  は複式学級が予測されます。

※みらい平地区についての学校選択割合は、現在就学している割合の小張小9：谷原小1で配分しています。